年間授業計画

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　商業　　科目 ビジネスアイデア

教　科：　商業　　科　目：　ビジネスアイデア　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　Ａ 組～　Ｆ 組

使用教科書：（ ビジネス基礎、東京のビジネスなど　　）

教科　　商業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目　　ビジネスアイデア　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスを発想するために必要な知識や技術	ビジネスに関する課題の発見と解決を図る力 創造的に考え、論理的にまとめる能力	主体的かつ協同的に取り組む態度

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	思考ツール 【知識及び技能】 　思考ツールの種類や使い方を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 　思考ツールを適切な場面で活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 　毎回授業に出席し、課題に取り組み、成果物を提出する	・マインドマップ、ブレーンストーミング、ＫＪ法等 ・一人１台端末の活用　等	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	6
	ビジネスプランの考え方基礎編 【知識及び技能】 　ビジネスプランとは何か理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　顧客のニーズや社会課題を解決するビジネスの種を見つけ出す。 【学びに向かう力、人間性等】 　毎回授業に出席し、課題に取り組み、成果物を提出する。	・日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に向けた指導 ・日本政策金融公庫のスライド資料 ・本校作成のワークシート ・一人１台端末の活用	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	9
	定期考査は実施しない。						
	ビジネスプランの考え方応用編 【知識及び技能】 　ビジネスの種をビジネスプランにまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 　顧客のニーズや社会課題の解決に結びつくビジネスを考案する。 【学びに向かう力、人間性等】 　毎回授業に出席し、課題に取り組み、成果物を提出する。	・日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に向けた指導 ・日本政策金融公庫のスライド資料 ・本校作成のワークシート ・一人１台端末の活用	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	12
	ビジネスプランの考え方ブラッシュアップ編 【知識及び技能】 　考案したビジネスプランに専門家の視点からアドバイスをいただき、改善する。 【思考力、判断力、表現力等】 　顧客のニーズや社会課題の解決に結びつくビジネスが、実現可能　なものであるかどうか、データや科学的根拠等を用いて検証する。 【学びに向かう力、人間性等】 　毎回授業に出席し、課題に取り組み、成果物を提出する。	・日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に向けた指導 ・日本政策金融公庫のスライド資料 ・本校作成のワークシート ・一人１台端末の活用	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	12
	定期考査は実施しない。						
2学期	「高校生ビジネスプラン・グランプリ」への応募	・グループワークを通じて「ビジネスプランシート」を完成させる。	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	12
	静岡理工科大学主催「高校生ものづくり・コトづくりプランコンテスト」 【知識及び技術】 　１学期に学習した思考ツールやビジネスプランの作成方法を応用する。 【思考力・判断力・表現力等】 　顧客のニーズや社会課題の解決に結びつくビジネスが、実現可能なものであるかどうか、データや科学的根拠等を用いて検証する。 【学びに向かう力、人間性等】 　毎回授業に出席し、課題に取り組み、成果物を提出する。	・グループワークを通じて「ビジネスプランシート」を完成させる。 ・ＮＰＯ法人くにたち富士見台人間環境キーステーションや、商業コンソーシアム等から会部講師を招聘し、ビジネスプランについてアドバイスをいただく。	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	24
3学期	ＳＤＧsの研究 【知識及び技術】 　ＳＤＧｓの概念や具体的な取り組みについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 　これまで自分たちで考案してきたビジネスプランが、ＳＤＧｓに照らし合わせて、妥当なものかどうか検証できる。 【学びに向かう力、人間性等】 　毎回授業に出席し、課題に取り組み、成果物を提出する。	・グループワークを通じて学習を進める。 ・必要に応じて外部講師を招聘し、アドバイスをいただく。	課題・成果物の評価規準 Ａ　十分に満足できる内容に加え、さらに工夫が見られる。 Ｂ　おおむね満足できる適切な内容である。 Ｃ　不十分な部分もあるが、適切な内容である。 Ｄ　不十分であり、今後の努力を要する。	○	○	○	30
							合計 105